

平成20、21年度 中期目標の達成状況報告書

平成22年6月
東京農工大学

目 次

I. 中期目標の達成状況

1 教育に関する目標の達成状況.....	1
2 研究に関する目標の達成状況.....	6
3 社会との連携、国際交流等に関する目標の達成状況.....	9

II. 「改善を要する点」についての改善状況.....	12
-----------------------------	----

I. 中期目標の達成状況

1 教育に関する目標の達成状況

中項目		1 教育の成果に関する目標	
小項目番号	小項目1	小項目	大学院基軸大学としての高度の教育を行い、その教育効果を常に検証し教育システムを改善することにより、高度の専門性を身に着けた創造性、国際性豊かな人材を育成する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目2	小項目	【学士課程】農学又は工学に関する基礎的専門知識を持ち、豊かな教養に基づいた健全な科学的思考や倫理観を持ち、生涯にわたり自己啓発できる人材を育成する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目3	小項目	【学士課程】大学院進学と職業人としての社会進出に必要な素養を持った人材を育成する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目4	小項目	【大学院課程】科学技術の高度化、学際化に対応し、独創性と実行力を備えた高度な専門能力を持つ職業人や研究者を育成する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

中項目	2 教育内容等に関する目標		
-----	---------------	--	--

小項目番号	小項目1	小項目	【学士課程】自然や科学技術に関心を持ち、常に自己を啓発し、実行力に優れ、社会で活躍することを目指す学生を国内外から広く受入れる。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目2	小項目	【学士課程】学習意欲の向上と探究心を育成できる授業形態を構築するとともに、学生が自律的に学習できるカリキュラムを提供する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画2-1	「農学、工学及び融合領域分野の教育に必要な基礎・専門科目の体系的なカリキュラムを平成18年度から導入」に係る状況		平成20～21年度に、文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」として“SEED”モデルに基づく体験型基礎教育プログラムを実施した。本プログラムは、学生自身が持つ主体性を引き出して自発的な学びを導き出すことを目的としている。加えて、農学部の「学科横断Φ型パッケージ・プログラム教育」を実施している。本プログラムは、学生自身が自らのカリキュラム設計に参加することで主体的な学習を促し、“農場実習などの現場体験による学びの動機付け”の体系的な強化等を目指すものである。工学部では、平成20年度「理数学生応援プロジェクト」として「東京農工大学SAILプロジェクト」を実施しており、科学者・技術者として船出(SAIL)に必要な4つの能力、①学習力、②分析力、③企画設計力、④理論的発信力を発展段階として設定し、学士課程1～3年にそれらの能力を養成するSAILコースを配置し、実施した。(資料2-2-1、1頁)

小項目番号	小項目3	小項目	【学士課程】農学、工学及び融合領域分野の科学技術者として必要かつ十分な教養・基礎・専門知識及び実践能力を育成するよう、講義・演習・実験・実習を体系的に配置する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目4	小項目	【学士課程】履修科目の到達目標、習得項目及び評価方法を明確にして成績を評価する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目5	小項目	【学士課程】履修科目の到達目標、習得項目及び評価方法を明確にして成績を評価する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目6	小項目	【大学院課程】農学、工学及び融合分野の最新の展開に即応した科目を体系的に採用するとともに、学際的、国際的素養を身に着けることのできるカリキュラム編成を行う。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目7	小項目	【大学院課程】専門教育の高度化、国際化に適応した様々な授業形態を柔軟に採用するとともに、学生の多様化に対応したきめ細かい学習指導方法を確立する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目8	小項目	【大学院課程】専門知識の習得成果を評価するとともに、学習成果の発展能力、研究能力等を総合的に評価する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

中項目 3 教育の実施体制等に関する目標			
小項目番号	小項目1	小項目	本学の教育理念に沿った教育実施体制を整備するために、必要な人材配置を進める。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画1-1	「教育部・学部における教育の充実のため、全学出動体制を拡充し、平成18年度から新カリキュラムに適応した体制を再構築する」に係る状況		平成21年度に、農工両学部・大学教育センター・その他関連組織の協力のもと、全学共通教育(教養教育及び専門基礎教育)を実施する基本的組織として「全学共通教育機構」を設置した。本機構のもと、平成22年度から自然科学系基礎科目(TATⅠ・TATⅡ)を導入・実施する。(別添資料3-1-1、2頁)
小項目番号	小項目2	小項目	教育の情報基盤を整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目3	小項目	教育活動に関する評価・解析結果に基づいて教育課程を改編し、教育改善を図る。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画3-3	「単位互換協定に基づき大学間の共同教育を拡充する」に係る状況		本学と早稲田大学との間で、平成20年度に「大学間交流に関する包括協定書」を締結し、平成21年度に検討を重ねた結果、平成22年度から国内初の国立大学と私立大学との連携による共同専攻である「共同先進健康科学専攻」を設置することとした。本共同専攻では、理学・工学・農学の領域融合型で先端的な大学院教育により、多様な課題に解決能力と探究能力を発揮しうる人材の育成を主眼とし、豊かな教養と広い国際感覚及び高い倫理観を有する人材を養成することを目指している。より具体的には、医薬・食・環境などの分野で活躍する人材の養成、製薬・食品・ヘルスケア企業の研究・開発者や公的研究所・官公庁等、幅広い企業や機関への就職を推進する。そのため、理工農学の融合はもとより、獣医学、薬学、スポーツ科学、リスク管理、国際コミュニケーション等の幅広い分野を組み入れた高度な博士後期課程教育カリキュラムを編成した。(別添資料3-3-3、3頁)

計画3-4	「全国の複数の大学との遠隔授業による共同教育を充実する」に係る状況	平成19年度に複数の大学を結び、双方向・リアルタイムの遠隔講義を行うために本学が中心となり、全国18 国立大学法人23 拠点に「多地点制御遠隔講義システム」を導入した。平成20年度から、本システムを使用し、他の連合農学研究科と合同の授業を行った。(別添資料3-3-4、4頁)
計画3-5	「教育部間、学部間、専攻間、学科間の共同教育を推進する」に係る状況	平成20年度文部科学省の「質の高い大学教育推進プログラム」に農学部の「学科横断Φ型パッケージ・プログラム教育」が採択された。地域生態システム学科における実績を踏まえた本パッケージ・プログラムは、学生自身が自らのカリキュラム設計に参加することで主体的な学習を促し、“農場実習などの現場体験による学びの動機付け”の体系的な強化及びPDCAによって教育の質のを不断に向上させることを目指すものである。本プログラムに基づき、社会的要請に対応した4履修プログラムを農学部5学科の共同運営として発足させるとともに、スーパーフィールド実習プログラムを設置し、農学系学士教育の普遍的基盤である“農場実習などの現場体験による学びの動機付け”を体系的に強化したΦ型教育システムを農学部における学科横断型教育システムとして立ち上げた。(別添資料3-3-5、5頁)

中項目	4 学生への支援に関する目標
-----	----------------

小項目番号	小項目1	小項目	学習面、健康面、生活・経済面、就職面等、学生にかかる入学時から卒業までの期間にわたる幅広い支援を行う。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画1-1	「府中・小金井キャンパスに「学生センター」を設置し、学生への学習面、健康面、生活・経済面、就職面における支援を強化する」に係る状況		平成19年度「科学技術関係人材のキャリアパス多様化促進事業」により設置したキャリアパス支援センターは、博士後期課程学生、若手研究者等を対象とした幅広い支援対象者、波及効果を持つ体制を構築した。さらに、平成20年度文部科学省科学技術振興調整費「イノベーション創出若手研究人材養成」プログラムに採択された「アグロイノベーション研究高度人材養成事業」に基づきアグロイノベーション高度人材養成センターを設置した。本センターは、全国博士課程の学生、若手研究者等を支援対象者として、実践的な研修機会等を付与することで、イノベーション創出へ向けたさらなる意欲の醸成と高度な実現力を養成し、21 世紀の諸問題に係る技術革新、産業創出、社会政策提言ができる優れた「アグロイノベーション人材」を産業界に輩出していくことを目的として、事業を実施している。(別添資料4-1-1、6頁)
計画1-10	「学生の福利厚生施設を改修整備するとともに、効率的運営体制を確立する」に係る状況		小金井キャンパスの学生寮(樺寮)について、金融機関からの長期借り入れによる全面学生寮の改修整備を行い、全200室の改修整備を完了した。あわせて18室からなる女子寮(桜寮)の整備を行い、平成21年度から入寮を開始した。(別添資料4-1-10、7頁))

2 研究に関する目標の達成状況

中項目	1 研究水準及び研究の成果等に関する目標		
-----	----------------------	--	--

小項目番号	小項目1	小項目	持続発展可能な社会を実現するために、農学、工学及びその融合領域において最高水準の研究を目指す。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目2	小項目	学術的・社会的に貢献度が高く、質の高い研究を行う。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目3	小項目	研究で得た成果を人類共通の財産として広く社会に還元する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目4	小項目	研究連携を通して大学と社会とがともに利益を得る体制を構築し、知的創造サイクルの形成を目指す。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目5	小項目	研究者の倫理意識を向上する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目6	小項目	社会の持続的な発展及び人類の知的・文化的・物質的生活の向上に貢献する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

中項目	2 研究実施体制等の整備に関する目標		
-----	--------------------	--	--

小項目番号	小項目1	小項目	科学技術の進展に合わせた配置、社会的要請に対応した配置を機動的に行う。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目2	小項目	研究を安全に効率よく実施できる環境を整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目3	小項目	計画的に研究施設・設備を整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目4	小項目	競争的な環境を醸成し、個人の能力が最大限に発揮されるシステムを構築する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目5	小項目	優れた若手研究者がその能力を最大限発揮できる環境を整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目6	小項目	一定期間ごとに自己点検評価・外部評価を行い、研究の質を向上する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目7	小項目	研究の水準・成果を検証するためのより良いシステムを構築する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

3 社会との連携、国際交流等に関する目標の達成状況

中項目	1 社会との連携、国際交流等に関する目標		
小項目番号	小項目1	小項目	国際的、全国的視野から地域社会をとらえて、自治体、NGO、NPO 等と連携協力しつつ、本学の知的・人的資源及び土地、施設を活用し、地域社会が必要とする社会人教育、青少年教育、政策立案、技術課題解決、防災災害対応等に貢献する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目2	小項目	自由な発想に基づく創造的研究及び社会的要請に基づく研究の必要性に留意して産官学連携を主体的に実施し、双方がともに利益の得られる研究を推進する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目3	小項目	社会的要請・公共性の強い研究を推進し、諸課題の解決に貢献する新技術を開発する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目4	小項目	新たな分野、融合分野や多様な形態での連携に積極的に取り組む。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目5	小項目	大学と企業の組織同士の明確な契約による連携を基本とし、知的財産を適切に保護、活用する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目6	小項目	大学と社会の利益相反を適切に調整する。
計画番号	中期計画	平成20年度及び21年度における実施状況	
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目7	小項目	近隣の公私立大学等との連携・協力による地域貢献の強化を追求するとともに、教育研究面における相互補完についてもその可能性を追求する。
計画番号	中期計画	平成20年度及び21年度における実施状況	
下記以外の 中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目8	小項目	教育・研究活動を通して本学が健全な科学技術の発展を通して世界平和の維持と人類福祉の向上に貢献することを基本に国際交流・協力を推進する。
計画番号	中期計画	平成20年度及び21年度における実施状況	
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目9	小項目	優秀な留学生を受入れ、世界及び出身国の科学技術の発展及び平和と福祉に貢献できるような人材養成を行う。また、本学在籍学生が海外の大学・研究機関で知的創造活動に参画できるように、学内体制の充実を図る。
計画番号	中期計画	平成20年度及び21年度における実施状況	
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目10	小項目	教育研究活動を通して世界の人材育成及び知的創造活動に貢献することを奨励し、かつその活動を円滑かつ効率的に推進できるような学内支援体制を整備・構築する。
計画番号	中期計画	平成20年度及び21年度における実施状況	
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目11	小項目	姉妹校ネットワークを生かし、アジア等発展途上国の国際人材育成の拠点とするための基礎を構築する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

中項目	2 産業資料の収集・保管・調査研究・展示による社会サービスの拡充と本学における教育研究活動の質の向上に関する目標		
-----	--	--	--

小項目番号	小項目1	小項目	大学附属博物館を設置し、教育面における社会サービスと本学における教育研究の質を向上する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

Ⅱ.「改善を要する点」についての改善状況

改善を要する点	改善状況
【教育】 該当なし	
【研究】 該当なし	
【社会等】 該当なし	